

令和5年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例



阿久根市立
折多小学校
(兼務校)

阿久根市立
脇本小学校
(本務校)

算数

○ 学校の概要

脇本小学校 学級数 12学級 児童数 194人 教員数 17人
折多小学校 学級数 8学級 児童数 79人 教員数 12人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	脇本小
算数	6年	5時間	脇本小
算数	6年	5時間	折多小

本務校で5・6年生の算数を1クラスずつ計10時間、兼務校で6年生の算数を1クラス計5時間担当している。

○ 令和5年度の成果

- ・ 教科の専門性を生かした質の高い授業を展開することができ、学力向上につながった。
- ・ 学級担任と教科担任が連携を図ることで、多面的な児童理解につながった。
- ・ 教科担任が指導する教科については、同じ教師が授業を行うため、系統性を生かした授業改善の視点が明確になった。

○ 令和5年度の課題

- ・ 家庭学習の見届けや、欠席児童に対する授業の補充が必要な場合に、指導時間を十分に確保することが難しい。
- ・ 日程変更や行事の実施に伴う時間割の調整が難しいため、その調整に多くの時間を要する。
- ・ 担任と教科担任が指導する教科が異なるため、当該学年の指導の際に、教科横断的な学習を計画することが難しい。また、教科の枠を超えた協働的な授業実践にも課題がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3~6年	15時間
B	音楽科	5・6年	2.8時間
C	外国語科	6年	2時間
D	外国語活動	3・4年	3時間
D	外国語科	5年	2時間

理科専科Aが3~6年生5クラスの理科を15時間担当している。

中学校の音楽科担当Bが5,6年生2クラスの音楽科を2.8時間担当している。

中学校の英語科担当Cが6年生1クラスの外国語科を2時間担当している。

4年1組担任Dが3・4年生3クラスの外国語活動を3時間と、5年生1クラスの外国語科を2時間担当している。